
このぼくにできること。

ごら。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

このぼくにできること。

【Nコード】

N1324A

【作者名】

いじ。

【あらすじ】

シュウジの想い。

世界は、あまりにもあっけなく、滅びようとしている。
彼女の手で。

あまりにも優しく、あまりにも残酷な、…彼女の手によって。
なんでこんなことになったんだろ。

なんでこんなことになればいけないんだ？
考えたって、どうしようもない。

誰に問いかけたって、仕方がない。
諦めようよ。

やめようよ。
終わろうよ。

何もかも。
きっと彼女が、終わらせてくれるのだろう。

僕の、愛しい彼女が。
全て、包み込んで、

終わらせるんだろうな。
どくん、どくん。

始まりの終わり。終わりの始まり。
その時が近づいてくる事を、この活動し続ける体は理解しているの

だろうか？
いいや、そんなの分かりきっている事だ。

いつか終わりが来る事を、始まった時から分かりきっていたはずだ。
それなのに。

怖い。
恐ろしい。

恐、怖。
そのことを考えただけで、どくん、と心臓が跳ねた。

終わりたくない。

死にたく、ない。

………ちせ。

いつか、彼女も死ぬ時が来るのだろうか？

たくさんの命を終わらせてきた彼女も。

彼女が。終わる。

………そんなの、

………そんなの、嫌、だ。

そんなの、嫌だ。

勝手な事を言ってるのかもしれない。いや、勝手な事を言ってるな。

でも、それだけは。

それだけは、駄目なんだ。

彼女を、ちせを、

守りたい。護りたい。

子供だよ。どうしようもなく子供だよ。

自分でさえも救えないのに、あたかも他人を救おうとしている。馬

鹿だよ。

けれど。

そんなこと、どうだっていいくらいに。

自分がどうなるうが。

終わろうが始まるうが。

生きようが死のうが。

彼女が、好きなんだよ。

彼女を守る。彼女といるために、世界を守る。

彼女を、助ける。

まだ終わっちゃいない。始まってさえいない。

まだ動ける。まだ生きてる。

まだ動いている。まだ生きている。

生きる事は死にたくない事で、生きたいからこそ、俺は死にいきま
す。

彼女と生きるために。

さあ、始めよう。

終わりを始めるために、この僕にできること。
みっともなく、足掻け。生きて、彼女とまた、始まるために。

(後書き)

< font size = 2 > すみません、意味不明ですね・また精
進します。 < / font >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1324a/>

このぼくにできること。

2010年10月14日14時02分発行